

TOPICS

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム地域人材コース 香川地域活性化グローバル人材育成プログラム 第4回派遣留学生帰国報告会

1月18日、幸町キャンパス、グローバル・カフェで開催。支援企業・団体や事務局関係者、学生（5大学、1高等専門学校）など、オンサイト・オンライン合わせて約75名の参加があり、産官学と学生が一体となって香川県を盛り上げるイベントとなりました。報告を行った4名の学生の留学先はアメリカ合衆国が2名、オーストラリア1名、ケニア共和国1名。留学テーマは教育・建築・水産・農業と多岐にわたっています。それぞれが独自の留学計画に基づいて実践的な活動を行い、そこで得た学びや気づき、留学先の国の現状、留学中のモチベーションの変化、今後の活動予定などを語りました。「ロサンゼ

スでコロナ感染が広がって瞬間にスーパーの棚から物資が消えたのがショッキングだった」「PBLによる授業のやり方を学ぶ中で、目指すキャリアの方向性が大きく変わった」「異文化を、理解することはできても、受け入れることの難しさとそれを克服する術を知った」「多様な人々の集まる環境では、まず自分の意見を表明することの重要性を強く感じた」などの発表が印象的でした。フロアからもオンラインでも多くの質問があり、的確に回答する学生たちからは、留学で得た学びを活かし、香川の未来に貢献する若きグローバル・リーダーとして活躍するという使命感を持っていると、感じることができました。



会場



派遣留学生と国際オフィス教員

カンボジア国立健康科学大学と看護学生による看護研究交流リモートミーティング

12月7日、慢性期成人看護学分野等の6名の学生が、医学部国際交流委員会（和田委員長他7名の委員）の陪席のもと、UHSのMs. Horn Vandy 国際交流委員他15名の学生とZOOMを用いたリモートミーティングを実施。発表課題は「カンボジアの看護学生の看護師をめざす動機:日本の看護学生の動機と

の比較」です。報告では、カンボジアの学生は国に貢献しようとする動機や長年のあこがれの職業であることの動機が特徴であり、一方、日本の看護学生は経済的自立や人々の役に立ちたいと考えていることが特徴として挙げられました。



発表と進行を行う4年生の学生

from International Office



ちきゅう見聞録



ドイツ ～ケルン～

工学部
村林真衣
2019年8月から2020年2月まで
トビタテ！留学JAPAN 全国コース派遣留学生としてケルン体育大学に留学



まず1か月間、語学学校でドイツ語を学びました。とても短い間でしたが、内容が濃く、日常生活や大学での生活に役立ちました。その後、ケルン体育大学で人間の動作原理や計測方法について学びました。



授業は英語で行われ、授業中に質問するのは日常茶飯事。先生の意見をすべて真に受けることなく、多くの意見が飛び交います。また、ディスカッションをする機会が多くあり、自身の考えや意見を伝える能力が必要です。



ケルンといえばケルン大聖堂。とても大きく圧巻の美しさです。中から見る大聖堂も圧巻です。アーチ状の天井はとても高く荘厳。さらに歴史あるステンドグラスがずらりと並んで、光を大聖堂内にもたらします。

read more



KADAIGEST 2021 1



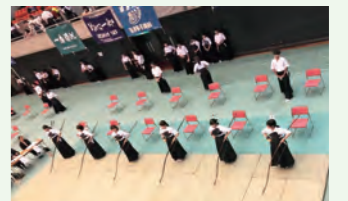
医学部 弓道場。



引退生の最後の試合。6人で1つのチームを組みます。



西医体個人戦男子。28m先にある的を狙います。



西医体個人戦女子。道場ではなく体育館で行います。



西医体（大阪）。この大会は医学科のみ参加します。



四国大会（徳島）での集合写真。



男子部員。1年生が作成した部活Tシャツを着て。



看護・臨床心理の学生。試合前の控え席で。

香川大学医学部 弓道部

弓道部では、水曜日は授業後に、土曜日は朝から稽古をしています。医学科は4年生の夏まで、看護科と臨床心理学科は3年生の夏まで活動します。現在、弓道部の現役部員は14人と少ないですが、今年度はコロナ禍にも関わらず多くの一年生が入部してくれました。弓道部ではほとんどが初心者です。私も大学から弓道を始めました。みなさんは弓道に対してどのようなイメージを持っているでしょうか。凛とした姿がカッコイイとか、的に当たる競技とかでしょうか。私も、その他の多くの部員も、そんな印象をもっていました。入部してから多くの発見をしましたが、一つみなさんに弓道の特徴

を紹介したいと思います。弓道はアーチェリーと違い点数制ではなく的中制です。的に当たればよいものとし、弓道場での振る舞いが評価されます。つまり礼の仕方から足の運び方まで、弓を引くことと無関係ではなく、すべての動作が的中につながっているのです。前期は近隣大学との対抗戦や、西日本医科学学生総合体育大会など多くの試合がありますが、今年度はコロナによりすべてが中止となってしまいました。しかしそんな中でも、いつも楽しく、時には厳しく、上級生も下級生も互いに教え合いながら切磋琢磨しています。来年度はもっと多くの部員を迎え、一つでも多くの試合ができることを心待ちにしています。

活動場所・医学部弓道部
活動時間・水 16:40～ 土 8:40～
部員数 ・32人
Twitter/@kyukyudodo
Instagram/kmu_kyudoooo



ピアガーデン。夏はいろんな部活企画があります。

サークル歴2年半
医学部3年
天野未悠

Bonsai☆Girls Project 盆栽ガールズプロジェクト



Bonsai☆Girls Project (略してBGP) は、女子大生の目線から高松盆栽の魅力を発信することを目的として2012年に結成されました。現在は、1年生2人、2年生12人、3年生6人、4年生1人の計21人で活動しています。

香川県はうどんが有名ですが、実は盆栽の産地としても知られています。特に高松市の鬼無・国分寺地区は、松盆栽の全国シェアの約8割を生産しています。しかし、その認知度は低く、国内どころか県内でも高松盆栽の存在を知らない人が多いのが現状です。また、盆栽に対する世間のイメージは「男性・高齢者・高価」といった若者や女性には親しみにくいものであり、地場産業として後継者不足の問題も抱えています。そこで、世間のイメージとは真逆の私たち女子大学生が、

左が五葉松、
右が唇翁桜になります。
桜は春になると
かわいい花が咲きます。



私たちならではの視点で高松盆栽をPRすれば、親しみにくいイメージを打破できるのではないかと考え、活動を始めました。私自身、盆栽×女子大生という不思議な組み合わせに興味を持ちBGPに加入しました。BGPのメンバーは全員が盆栽初心者ですが、それぞれ活動していくなかで、盆栽のかわいさや美しさに魅了され、いまでは高松盆栽を発信する活動にやりがいを感じています。盆栽初心者の女子大生だからこそ気づくことのできる魅力や生まれるアイデアが活動に活かされていると思います。

現在は、小学生から高校生までを対象としたワークショップの開催、フリーペーパーの作成、SNSによる情報発信など若者や女性をターゲットとした活動を主として行っています。

しかし、結果が出ず悩むことも多々あります。なかでも、フリーペーパーの作成は昨年度から新たに始めた取り組みで、前例がないために苦労した場面が多かったです。昨年度は、盆栽のあるカフェへの取材のみに限定して記事を作成していたため、内容のマンネリ化や取材先探して難航することがありました。さらに、手に取った方の反応を知る手段を用意しておらず、正確な効果を測ることができませんでした。これらの反省点を踏まえ、メンバーで意見を出し合い、今年度はより幅広いテーマの記事作成、アンケートの実施を行いました。記事の幅を広げたことで、活動が制限されたコロナ禍でも盆栽スイーツづくりや盆栽映え対決など、ステイホームで盆栽を楽しむ方法を記事に取り上げ、状況に応じた柔軟な活動を行うことができました。

また、BGPの活動を通して、仲間の存在の大きさを感じることができました。壁にぶつかれば意見を交わし、何かを成し遂げたときには喜びを分かち合えるメンバーがいるからこそ、これまで前を向いて活動を続けることができました。今後も高松盆栽の魅力女子大生ならではの視点で発信し、地域活性化に貢献できるようメンバー一同邁進してまいります。

経済学部2年 小林由佳



経済学部観光・地域振興コースに所属し、地域活性化に貢献できるようフィールドワークを取り入れた実践的な講義に積極的に参加しています。私はこれまでに五葉松、桜、コトネアスターの苔玉をつくりました。自分で作った苔玉には特に愛着が湧き、盆栽愛が高まります。

盆栽スイーツづくりにチャレンジしました。想像以上に本物そっくりのスイーツが完成して嬉しかったです。ちなみに左は抹茶アイス、右はココアクッキーパフェです。見た目もかわいく、味もばっちりでした！レシピはフリーペーパーに掲載しています。



今年度から新たな試みとして高校生向けのワークショップを実施。苔玉づくりに加えて大学生の紹介や受験のアドバイスも行いました。楽しそうに苔玉を作ってくれたり、大学について沢山質問してくれたりとても有意義な時間になり大成功でした。



子供向けワークショップ。小学生を対象に地域のコミュニティセンターで開催しています。苔玉づくりは意外と力が必要で難しい工程もありますが、いつも真剣に説明を聞いて素敵な苔玉を作ってくれます。完成したときの嬉しそうな笑顔には私たちも元気をもらっています。



盆栽を季節のイベントに合わせて飾りつけインスタ映えする写真を撮影しました。テーマはハロウィンです。この様子を記事にし、フリーペーパーに掲載しました。



香川のタウン情報誌「komachi」で連載をしています。他にもテレビやインターネット記事、SNSなど様々な媒体を用いて情報発信を行っています。インスタグラムは1.3万人フォロワーを超えました！



香川県には盆栽のあるおしゃれなカフェがあり、BGPが取材をしてフリーペーパーに掲載しています。若者や女性が盆栽に興味を持つきっかけとなるようなおしゃれなカフェばかりです。



盆栽教室です。BGPのメンバーはお世話になっている盆栽作家さんのもとで定期的に盆栽についての知識や苔玉・盆景の作り方を教わっています。ここで得た知識をワークショップに活かしています。

盆栽教室で作った盆栽=My盆栽との写真です。やっぱり自分で作った盆栽は特別にわく見えます！My盆栽はメンバーが各自、家に持ち帰って大切に育てています。

